

仕上げ兼用床用補修材【速硬・速乾タイプ】



施工要領書

【改定】2020 年 12 月

※本要領書の内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

Best Walls, Best Life

しっくいと共に

日本プラスター株式会社

1. 使用材料および調合

【 使用材料 】

使用材料	適用部位	塗厚の範囲	施工可能面積
NP フィニッシュフロア F	内床 外床※	3～15mm	約 4 m ² /袋 (塗厚 3mm の場合)

※外床は、常時水掛かりがある部位に関しては素地仕上げを避け、仕上げを施して下さい。

使用材料	
吸水調整材	NP シーラック

使用材料	
浸透型表面強化剤	ウルトラナノ浸透プライマー

【 調合 / NP フィニッシュフロア F 】

使用材料	荷姿	清水
NP フィニッシュフロア F	粉体 20kg	3.4 ～3.8 ℓ

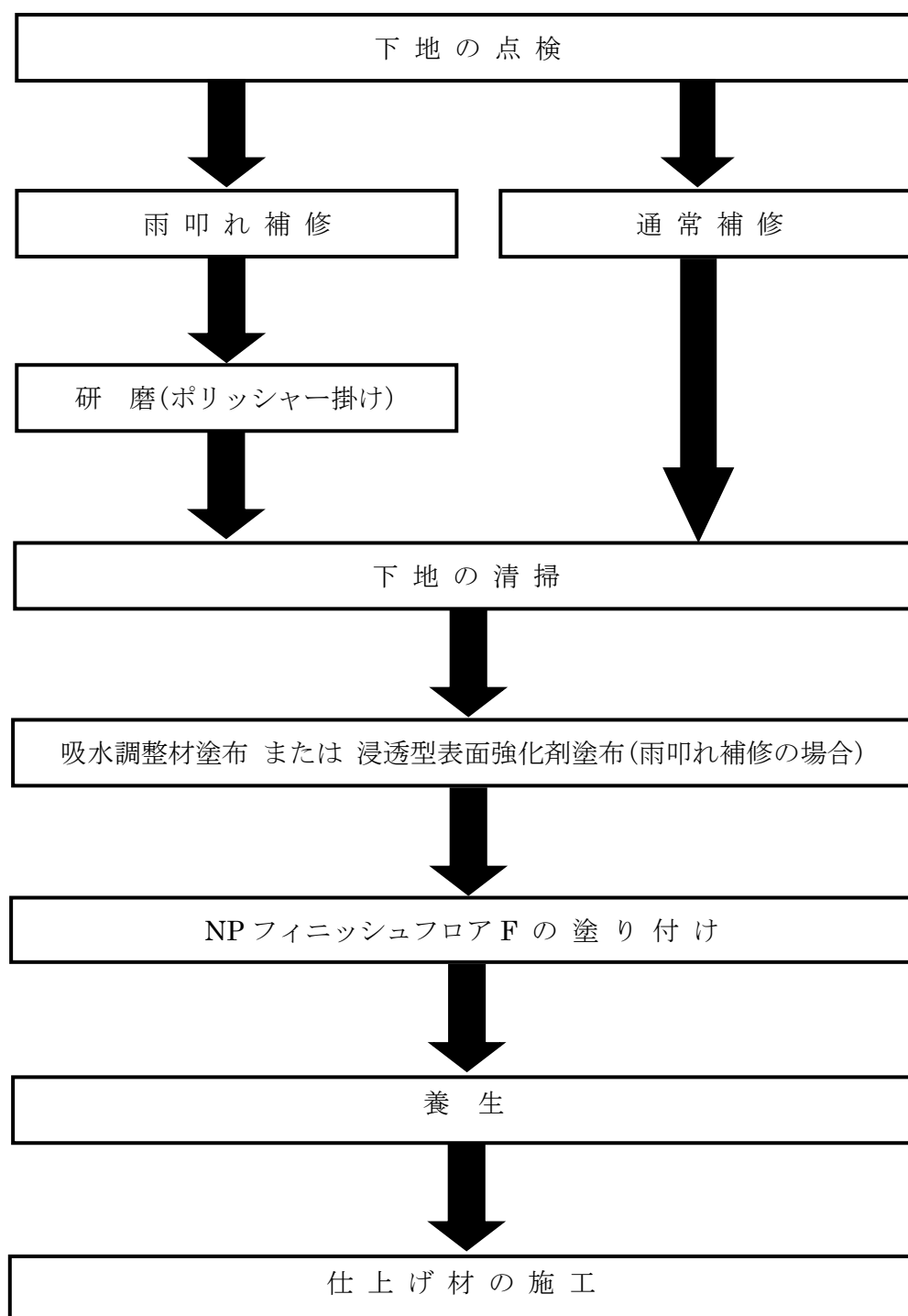
【 調合 / NP シーラック ※5 倍希釈液 】

使用材料	荷姿	原液	清水
NP シーラック	18 kg 金属ペール缶	1 (18 kg)	4 (72 ℓ)

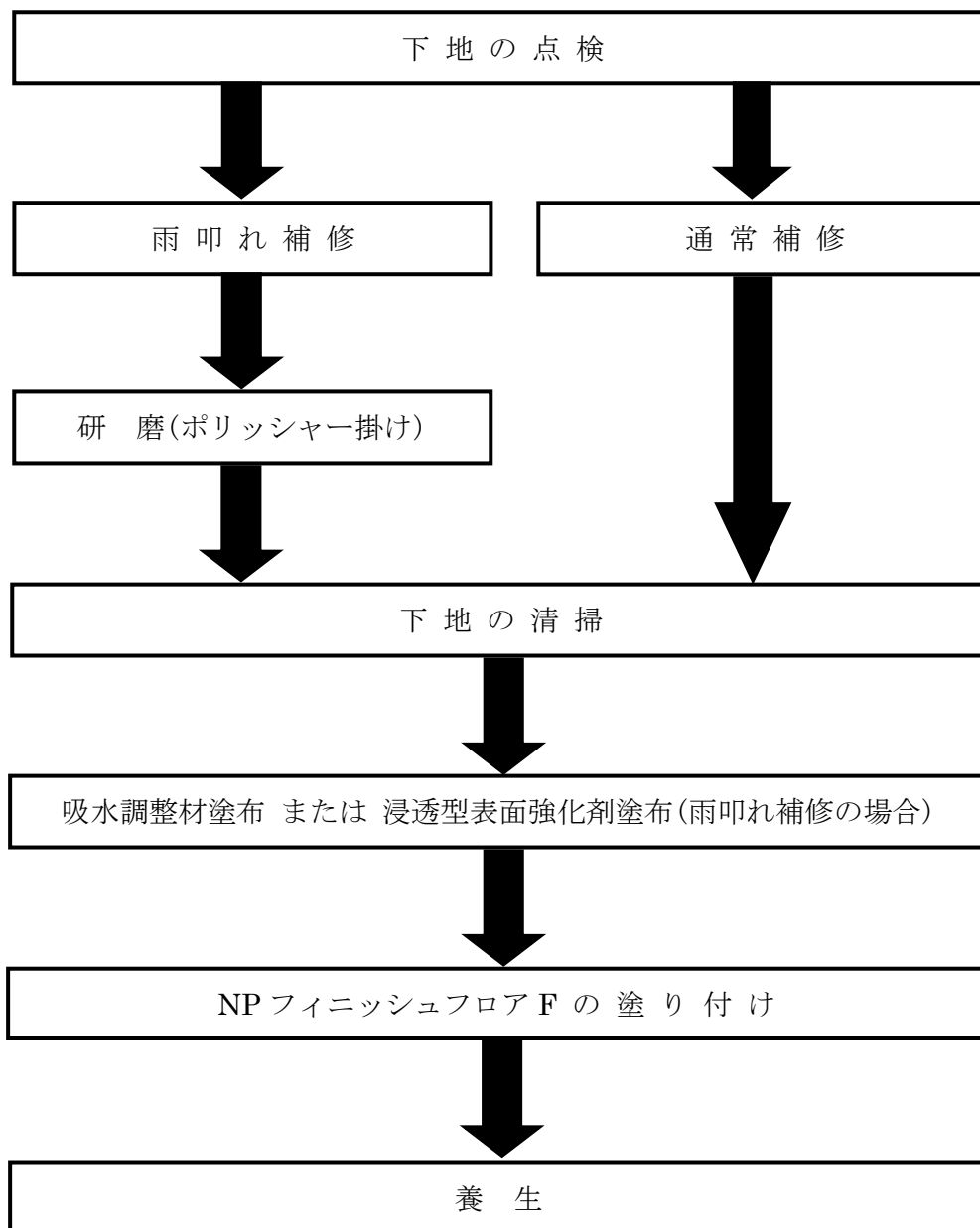
※ウルトラナノ浸透プライマー(荷姿 14kg プラスチック缶)は、原液のまま使用する(希釈不要)。

2. 施工フロー

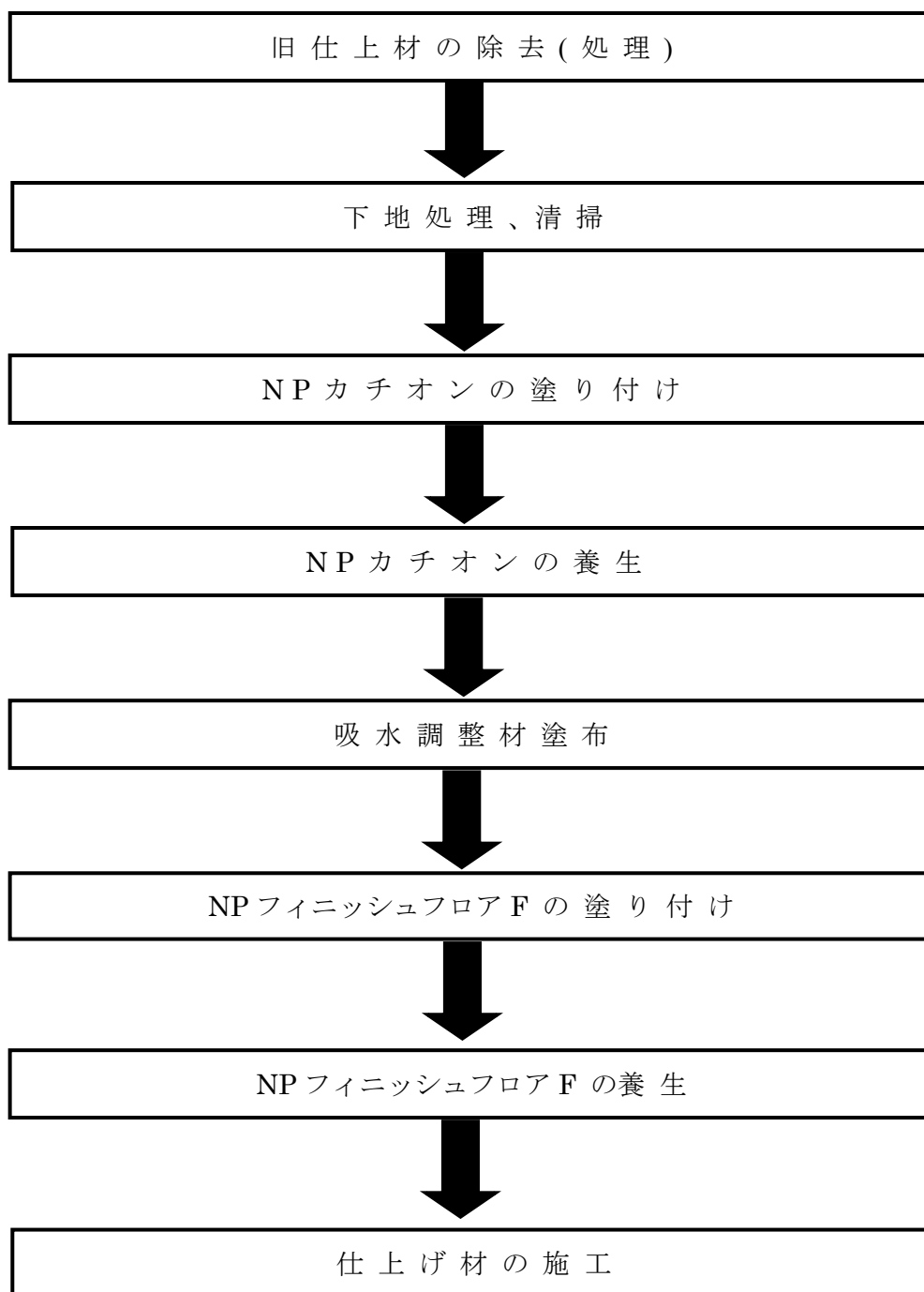
(1) 下地調整材として使用する場合



(2) 素地仕上げ材として使用する場合

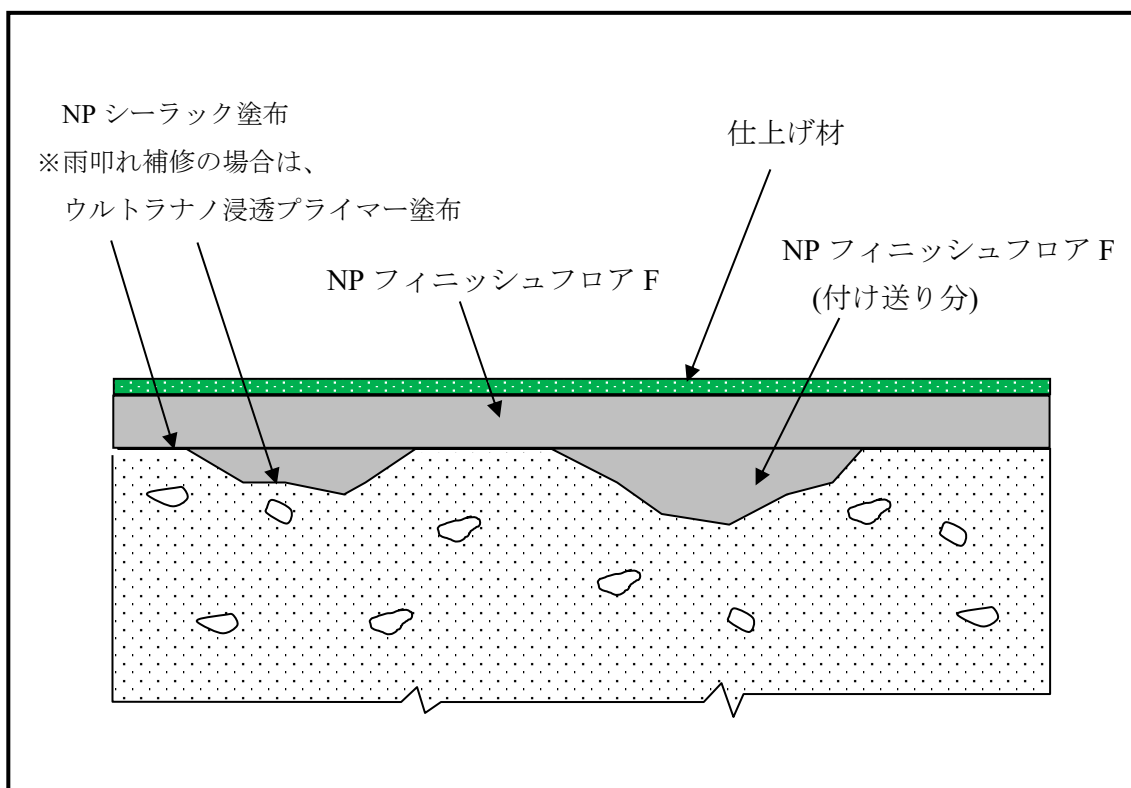
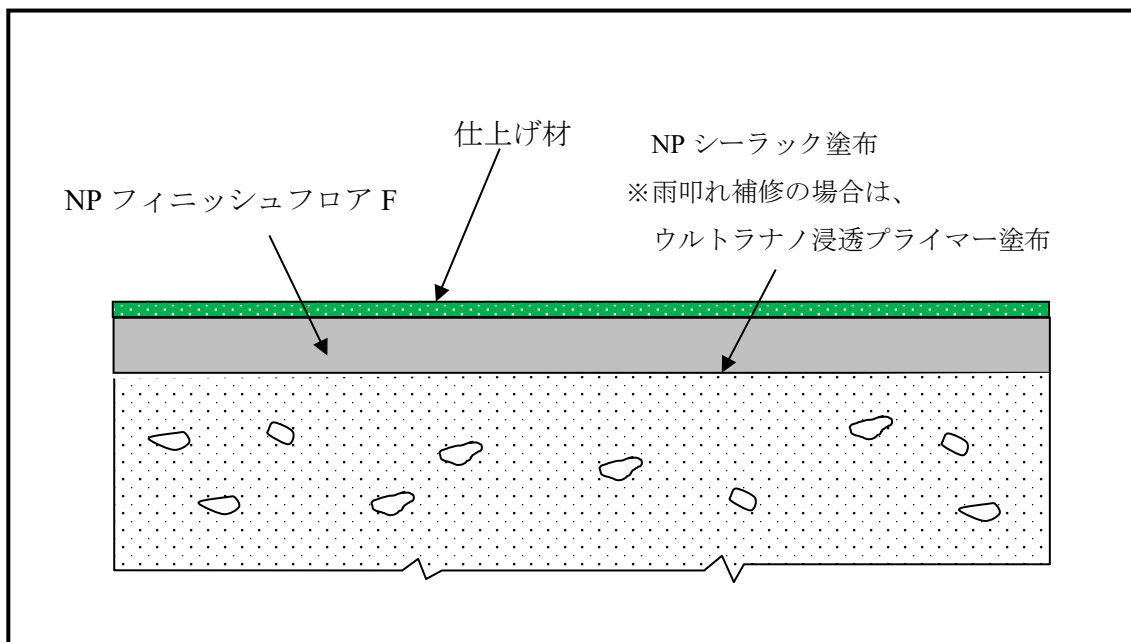


(3) 旧仕上げ材の上に施工を行う場合

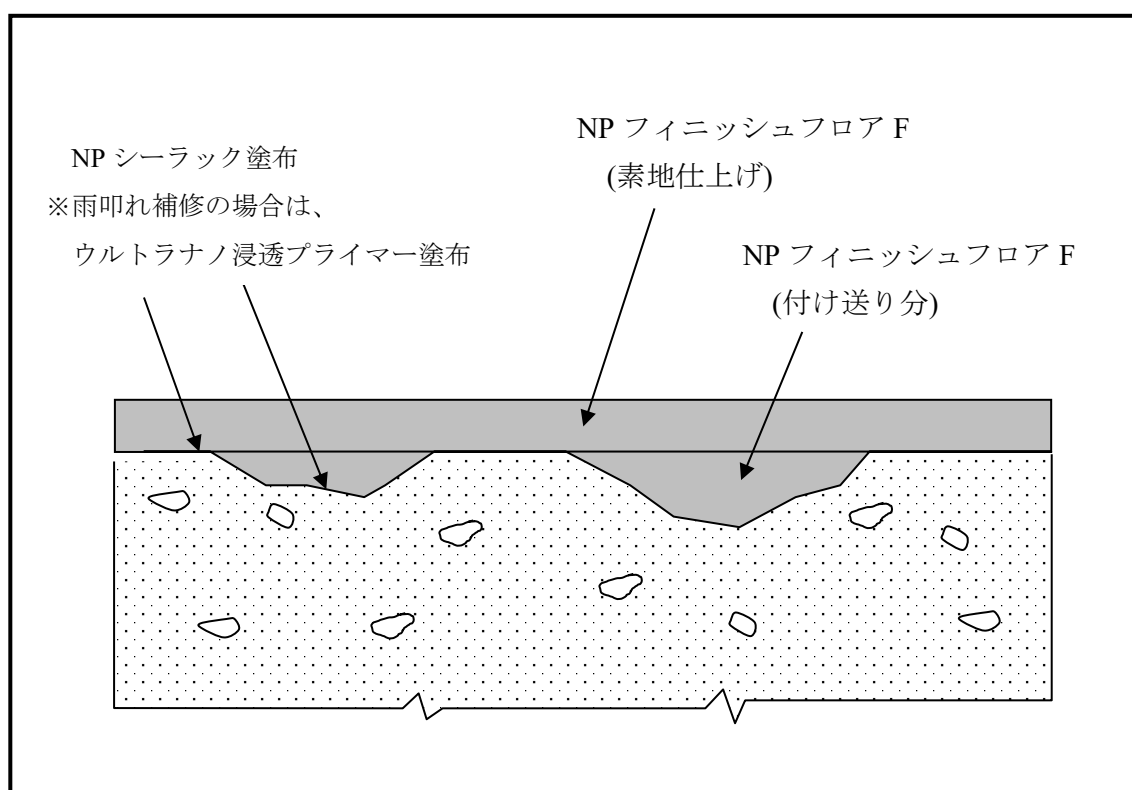
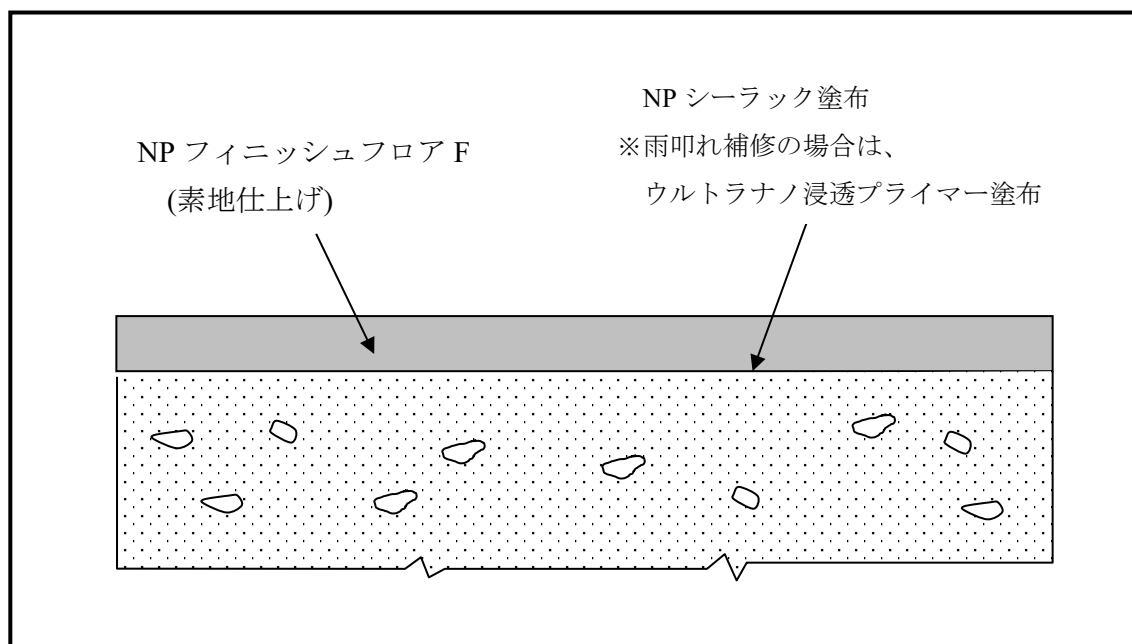


3. 施工概略図

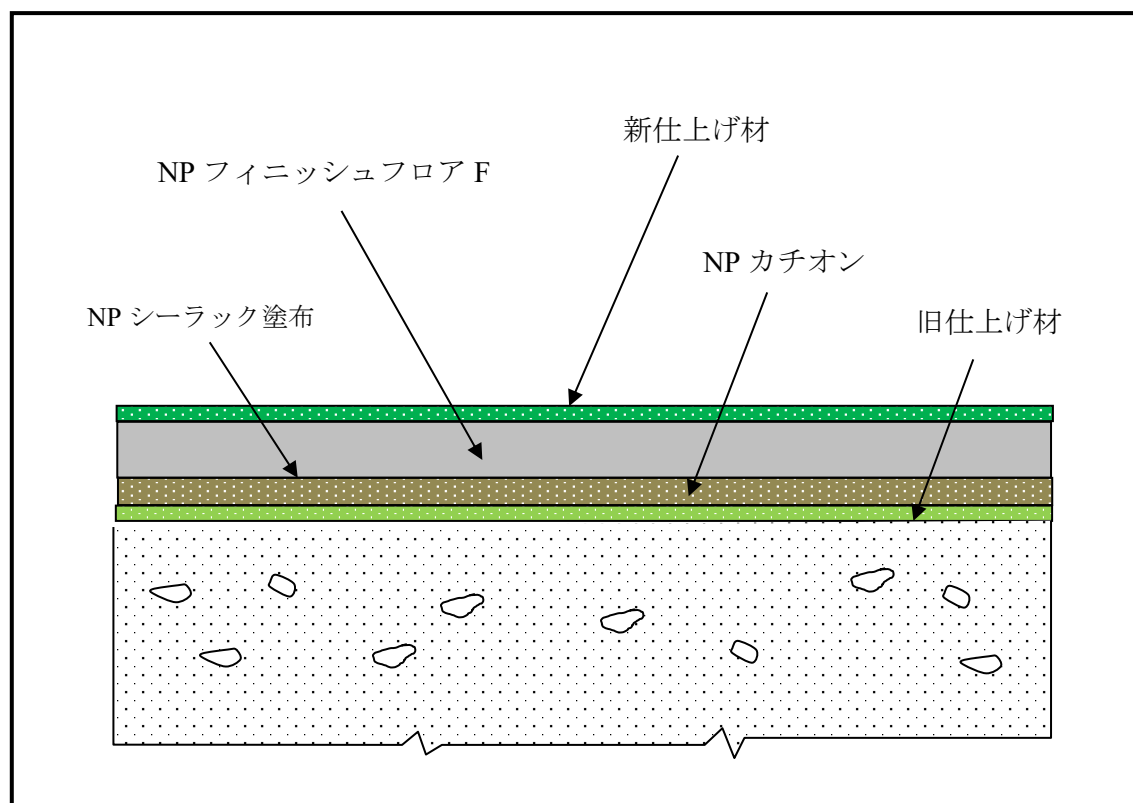
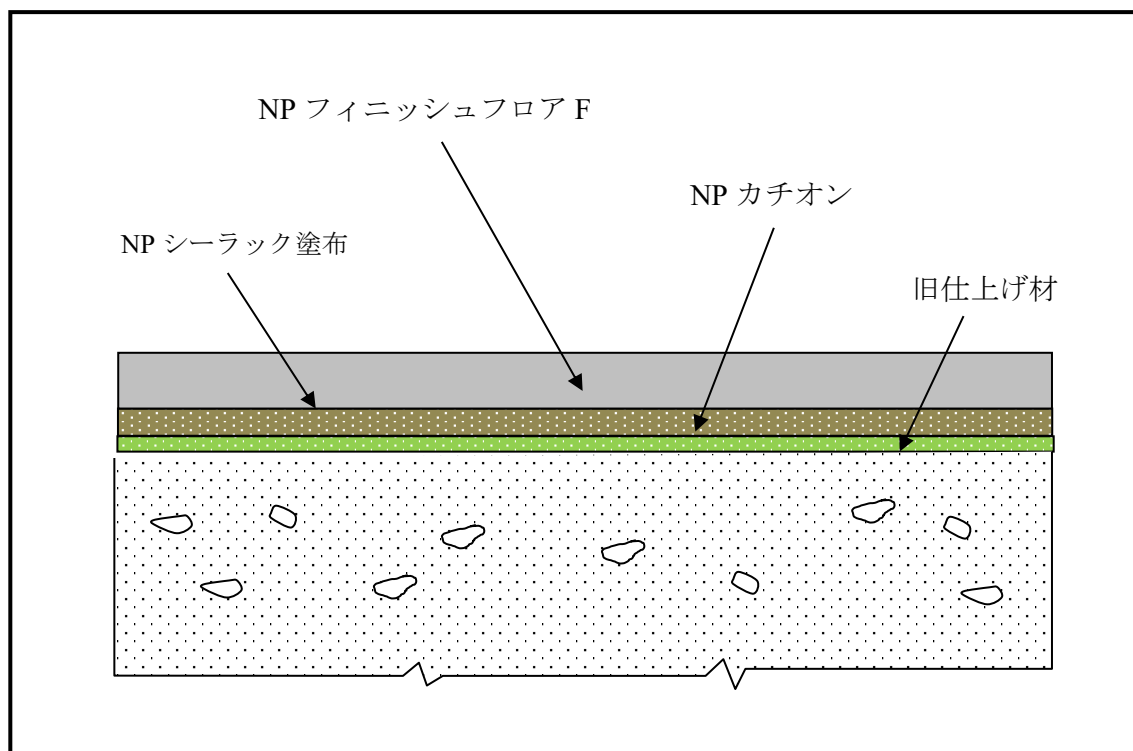
(1) 下地調整材として使用する場合



(2) 素地仕上げ材として使用する場合

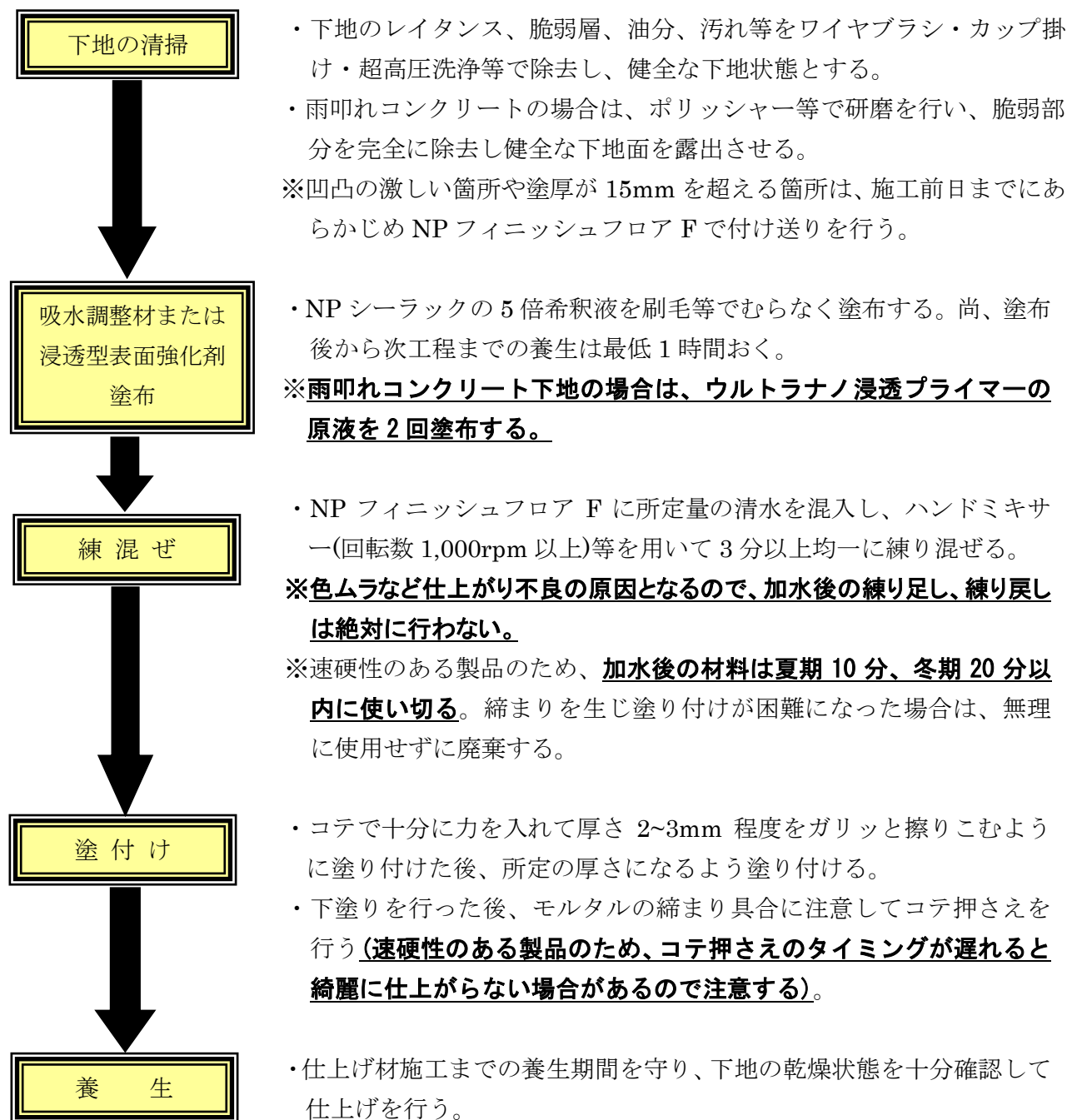


(3) 旧仕上げ材の上に施工を行う場合



4. 施工要領

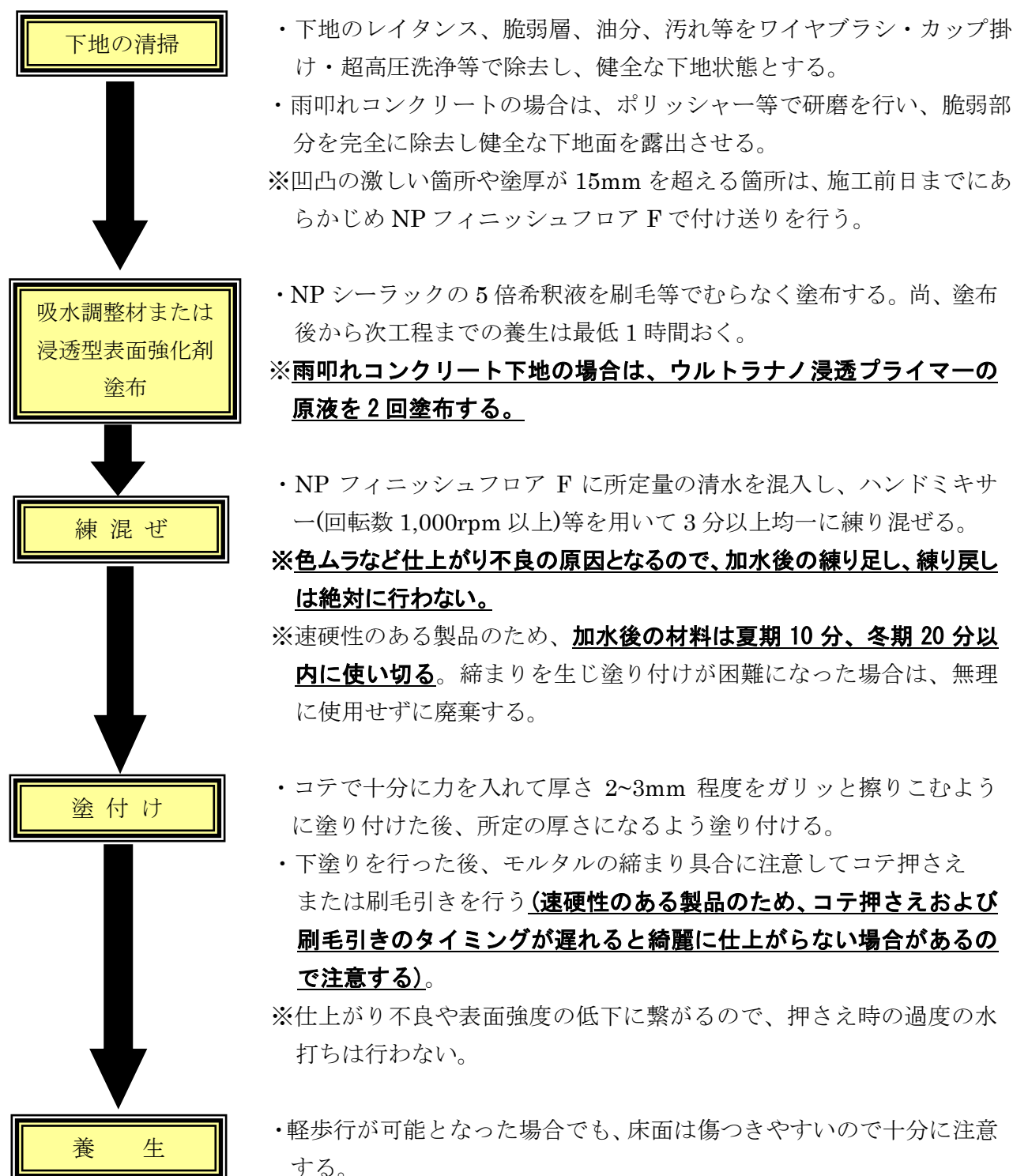
(1) 下地調整材として使用する場合



仕上げ材種類／環境温度	20～35℃	10～20℃	3～10℃
水性仕上げ材(最短)	7 時間以上	10 時間以上	12 時間以上
溶剤系仕上げ材(最短)	24 時間以上		

- ・硬化するまでは急激な乾燥を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行う。

(2) 素地仕上げ材として使用する場合



環境温度	20~35℃	10~20℃	3~10℃
軽歩行可能時間	約 2 時間	3~5 時間	5~7 時間

- ・硬化するまでは急激な乾燥を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行う。

(3)旧仕上げ材の上に施工を行う場合

旧仕上げ材
の除去(処理)

- ・旧仕上げ材が長尺シート、P タイル、タイルカーペット等の場合は、スクレーパーなどにより除去を行う。残存する接着剤については、指で簡単にはがせる程度のものは完全に除去する。塗り床、タイルについても、浮き部や脆弱部分がある場合は完全に除去する。



施工例 写真 1. タイルカーペット除去後の状況

下地処理・清掃

- ・施工面に汚れや脂分が付着している場合は、ワイヤブラシや溶剤で除去し健全な下地とする。吸水が激しい下地へ施工する場合は、NP シーラックの 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布する。

NP カチオンの
塗り付け

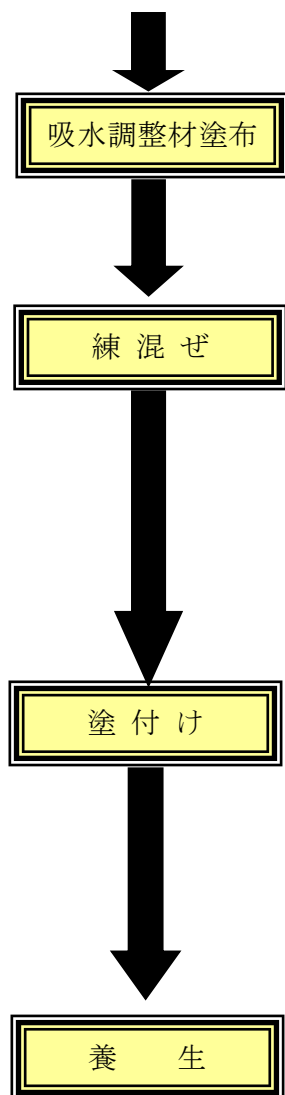
- ・NP カチオンに所定量の清水を混入し、ハンドミキサー(回転数 1,000rpm 以上)等を用いて 3 分以上均一に練り混ぜる。
- ・下地に擦りこむように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付ける。加水後の材料は夏期 40 分、冬期 60 分以内に使い切る。

NP カチオンの
養生

- ・次工程までの養生期間を遵守する。(目安; 通常 5 日、冬期 10 日以上)



施工例 写真 2. NP カチオン施工後の状況



- ・ NP シーラックの 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布する。尚、塗布後から次工程までの養生は最低 1 時間おく。

- ・ NP フィニッシュフロア F に所定量の清水を混入し、ハンドミキサー(回転数 1,000rpm 以上)等を用いて 3 分以上均一に練り混ぜる。

※色ムラなど仕上がり不良の原因となるので、加水後の練り足し、練り戻しは絶対に行わない。

※速硬性のある製品のため、加水後の材料は夏期 10 分、冬期 20 分以内に使い切る。 締まりを生じ塗り付けが困難になった場合は、無理に使用せずに廃棄する。

- ・ コテで十分に力を入れて厚さ 2~3mm 程度をガリッと擦りこむように塗り付けた後、所定の厚さになるよう塗り付ける。
- ・ 下塗りを行った後、モルタルの締まり具合に注意してコテ押さえまたは刷毛引きを行う **(速硬性のある製品のため、コテ押さえおよび刷毛引きのタイミングが遅れると綺麗に仕上がらない場合があるので注意する)。**

- ・ 軽歩行が可能となった場合でも、床面は傷つきやすいので十分に注意する。

環境温度	20~35℃	10~20℃	3~10℃
軽歩行可能時間	約 2 時間	3~5 時間	5~7 時間

- ・ 仕上げ施工を行う場合は養生期間を守り、下地の乾燥状態を十分確認して仕上げを行う。

仕上げ材種類／環境温度	20~35℃	10~20℃	3~10℃
水性仕上げ材(最短)	7 時間以上	10 時間以上	12 時間以上
溶剤系仕上げ材(最短)	24 時間以上		

- ・ 硬化するまでは急激な乾燥を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生を行う。

素地仕上げに関する注意点

- 色ムラなど仕上がり不良の原因となるので、加水後の練り足し、練り戻しは絶対にしないでください。
- 素地仕上げを行う場合、混水量や施工条件(気温、押さえのタイミングなど)によって色調に濃淡を生じる場合があるので、現場での試験塗りで色調を確認してください。
- 規定量を大きく上回る混水量は、仕上がり不良や硬化時間の遅れの原因となります。混水量を遵守してください。

施工上の注意点

- 気温が 3℃以下および 35℃になる場合には、施工を行わないでください。
- 必ず NP シーラックの塗布を行い、他の吸水調整材は使用しないで。
- NP フィニッシュフロア F は既調合品であり、現場にて砂、セメント、薬品類などを混入しないでください。
- 製品は製造年月日を確認し、製造日から 3 ヶ月以上のものは使用しないでください。



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032